

FREE
PAPER



北陸の眼科医をつなぐ情報マガジン

Vol.17

eye
link

「眼科領域における再生医療最前線」

先進的な角膜
再生研究が
いよいよ臨床段階へ

スペシャル
トーク

大阪大学 大学院医学系研究科
脳神経感覚器外科学(眼科学)

西田 幸二教授に聞く

「眼科領域における再生医療最前線」

先進的な角膜再生研究が いよいよ臨床段階へ

スペシャルトーク

Special
talk

大阪大学 大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学(眼科学)

西田 幸二教授に聞く

日本再生医療学会の理事及び学会運営の再生医療推進戦略委員会の
委員長を務められている大阪大学の西田幸二教授と、
金沢大学の杉山和久教授、富山大学の林篤志教授を交えて
再生医療の現状や展望、学会の役割、未来へ向けたメッセージを語っていただいた。



先進的な角膜再生医療〜角膜上皮と内皮の最新研究について〜

林●西田先生は日本を代表する角膜の再生医療の第一人者として活躍ですが、今後の再生医療の方向性を教えていただけますか。

西田●元々は角膜移植を専門にしておりました、角膜移植で治らない患者さん、特に拒絶反応やドナー不足などで治らない患者さんに対して新しい医療を提供したいというのが再生医療を始めたきっかけです。熱傷や外傷、ステイープンス・ジョンソン症候群とか。拒絶反応を抑えるため、患者さん自身の口腔粘膜の幹細胞を培養して角膜の上皮と同じような機能を持つ組織を作って移植するという方法を開発してきました。2002年から30例の臨床研究を行い、安全性と有効性は概ね良好であること

を確かめることができました。一般の治療に定着させるために、2年前から始めた治験も最終段階で、あと1、2年で実用化という段階までできています。

iPS細胞は、日本の国家プロジェクトとして重点的に支援を受け、眼の再生医療の実用化に向けた研究が2拠点で進められています。ひとつは高橋政代先生の網膜。もうひとつは我々の阪大の角膜。阪大は2006年にスタートし、現状はiPS細胞を用いて角膜の上皮と内皮を作っています。上皮は口腔粘膜での治療がありますが、治療の目標とする視力は0.1程度ですので、iPS細胞で角膜を作って移植する研究を行っています。幸い昨年、世界で初めて目全体の細胞を作る技術を開発しました。今のところ二次元の構造ですが、三次元なら眼球そのものになります。角膜の上皮は臨床に使えると思われる段階までできていて、今は動物実験などで安全性、有効性の試験のデータを積んでいる段階です。来年度に臨床研究か医師主導治験を開始するところまでできています。

杉山●患者さん自身のiPS細胞で上皮や内皮を作られるのか、それとも他家移植が進められるのか、どちらでしょうか。

西田●上皮についてはHLAマッチング有りの他家移植を考えています。内皮については拒絶反応のリスクがほとんどないので、HLAマッチング無しの他家移植を考えています。iPS細胞は自家移植ができるというのが大きな利点ですが、患者さんの皮膚や血液からiPS細胞を作って分化

誘導すると株間に結構差があるため、沢山の株を作ってスクリーニングする必要があります。製造工程が長くなるとコストが多くなるので、標準化という目標のために現時点ではコストの少ない他家移植が進んでいます。

杉山●他家移植と自家移植ではコスト的にかなり差がありますか。

西田●全然違います。他家移植は「iPS細胞バンクプロジェクト」といって京都大学がすでにスクリーニングが終わった株をストックして、それを提供してもらい使用するので、iPS細胞を患者さんから取ってスクリーニングするステップが不要になります。組織によって違いはありますが、角膜だったら10分の1以下になると思います。またiPS細胞を作ったときに複数のクローンができます。それらは均一ではないため、沢山の検査を行います。それらよりよいクローンを選択する必要があります。

林●この上皮のiPS細胞は実用化までには何年くらいの想定でしょうか。

西田●5年の間に医師主導治験と企業主導治験の2回を行うスケジュールを考えています。そこから製造販売や許認可に2、3年ほど。だいたい7年くらいほどです。

杉山●内皮は何年くらいかかりますか。

西田●内皮はもう少しかかりますね。2つを同時進行では行わず、1年ほどずらして行うので、8年先などになりますね。

林●iPS細胞の上皮移植の対象疾患は、重症の





外表面疾患でしょうか。もっと広範囲の疾患に対して治療できるようになりますか。

西田●新しい医療の場合、最初は重症なものしか認められないと思います。ある一定期間のPMS（ポストマーケットサーベイランス）で安全で有効であれば軽症例に対しても適用できるかもしれません。

杉山●将来、角膜移植を完全に置き換えることも考えると、角膜でないと対応できないような症例もあるでしょうし、混濁を取りたいということになると実質と上皮の両方を作る手法とか如何ですか。

西田●できたらいとおもっていますが、アイバンクの眼球を用いてもなお足りない部分を補填するのが「再生医療」という位置付けだと考えています。生体の臓器や組織に勝るものを作ることは難しいです。ですからアイバンクの重要性はいつの時代も変わらないと思います。

ただ3次元の眼球全部を作るという夢を追いたいと思っています。実は若い先生と計画して「鬼太郎の親父の目プロジェクト」と名づけ、鬼太郎の親父さんのような目を作りたいと思っています。

日本独自の制度の始まり 〜再生医療関連法〜

西田●再生医療という新しい領域は、レギュレーション、レギュラトリーサイエンスも未熟ですので、行政、学会、それから産業界の三者の協力が必要です。新しい領域、規制は三者が議論をしながら作るので他の学会に比べると再生医療学会の果たしている役割は異なるものと思います。

杉山●2014年施行された再生医療関連法ですね。

西田●再生医療は第3カテゴリーです。それまでの審査は薬と医療機器のどちらかに当てはめようとしていました。しかし、レギュレーションに合わないので、国も思い切って第3カテゴリーで再生医療等製品というカテゴリーを作って、薬事法を改正しました。再生医療等安全性確保法と言う、臨床研究に対しても新しい法律を作りました。再生医療等製品では安全性をしっかりと担保できれば、早期承認（仮免許）が与えられます。その後の有効性審査の本承認は販売後に実施されますが、これは世界初の制度です。日本独自に国と学会が連携して制度を作り、産業化も早くなりました。最近ではアメリカも同様の制度を導入し始めています。

未来へ期待

〜間葉系幹細胞とiPS〜

西田●間葉系幹細胞は万能細胞の一種と考えられていて、脂肪や骨髄の中にあり患者さんから採取しやすく、色々な細胞に分化する能力を持っていることが証明されています。加えて、抗炎症作用、





線維化抑制、免疫反応抑制作用を持っていますので、さまざまな分野でその医療への応用が進められています。すでに商品化されているのがGVHD (graft versus host disease: 移植片対宿主病)の治療です。局所に投与しなくても点滴静注で効きます。また脳梗塞や心筋梗塞、脊髄損傷に対しても開発が進められています。

この分野の研究は、ものすごく進んでいて、ここ数年でブレイクすると思います。本当に楽しみです。間葉系幹細胞の商品が出て、それでも治らない病気に対してはiPS細胞の商品が出てくるという2段階になったら理想的だと思っています。

杉山●間葉系幹細胞の場合、採取は患者さん自身の脂肪組織でしょうか。

西田●他家です。他人の脂肪や臍帯から取ってくることで産業化しやすいので、企業は他家の方向を目指しています。

林●今、出ている生物製剤と比較すると間葉系幹細胞の方がより長期的かつ効果的に効くこともあり得ますね。リウマチやぶどう膜炎にも。

西田●間葉系幹細胞が放出するファクターがひとつであれば生物製剤にとって代われますが、多分ひとつではないですね。マルチファクターだったら生物製剤にとって代えられないと思います。ただ、あまり世間に知られていないですが、マルチファクターだから間葉系幹細胞が効いてる、そしていい効果になると推測しています。

先生方へのメッセージ 基礎研究の充実が重要

西田●全般として再生医療、先端医療で必要なことは基礎研究の充実です。最近、しっかりとした基礎研究ができる環境が失われてきています。ノーベル賞を取った大隅先生は基礎研究が滅びつつあることを問題視されています。AMED(エーメド)ができて、早期の社会実装が求められる時代になったら、国が基礎研究に対してあまりお金を出さなくなりました。しっかりとしたエビデンスがないものを患者に応用するというような風潮になったら危険です。基礎研究をしっかりと充実させることが逆に社会実装、患者さんへの応用を進めるために必須であるということを改めて認識しないと駄目だと強く思っています。

林●スーパーローテートの影響は大きかったです。

臨床現場の先生には、将来の臨床の発展のためにも基礎研究が大事であると再認識していただきたいですね。

西田●今までは過去の研究の蓄積で日本はノーベル医学生理学賞を3年連続で受賞しましたが、これからは日本からノーベル賞が出なくなるのではないかと懸念されています。iPS細胞の研究をやっている、まだまだわからないことがあります。臨床応用という観点からも基礎研究の充実は重要視されます。

杉山●将来を考えると臨床医も昔のように基礎医学的なトレーニングを受けたほうがいいと思いますね。リサーチマインドを持って若いうちから基礎医学に取り組んで欲しい、というのはすごくいいメッセージだと思います。

西田●基礎的な病気に対する深い理解は、臨床でもすごく役立つので、時にはリサーチマインドを持ついろいろな研究もするのは大事なことです。

林●iPS細胞の研究をやりたい人達を眼科の再生医療の拠点施設にたくさん受け入れて発展させていくのもひとつの方法ですね。

西田●是非ウエルカムです！
どんどん来てもらいたいですね。眼科領域というよりも再生医療の拠点化が必要です。大学間の壁も、例えば京大と阪大の壁はありません。再生医療の領域においては、協力し合っている関係で良好に進んでいます。



診療のコツとテクニック

know-how & Technique

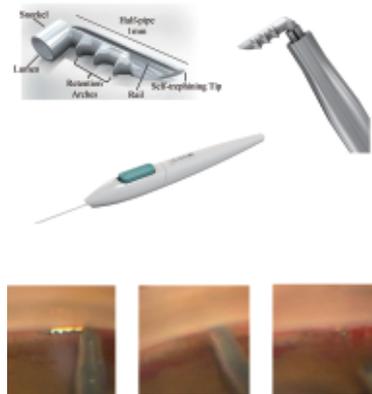
MIGSとして認可された iStent 挿入による眼圧下降作用

白内障手術と同時手術が可能な Minimally Invasive Glaucoma Surgery (MIGS) として認可された iStent トラベキュラー マイクロバイパス システム (iStent) を使用した手術を2016年11月から福井県済生会病院ではいち早く導入し、2017年12月末日現在で34例45眼に水晶体再建+iStent 挿入術を施行した。欧米での既報によると iStent 1本挿入で術前より22%の眼圧下降、点眼数 -1.2剤、2本で術前より30%の眼圧下降、点眼数 -1.45剤と、iStent 2本挿入の方が優れるが、十分なコンセンサスが得られていないこと・医療費増大などが考慮され、日本では iStent 1本使用のみが2016年3月25日に認可され、水晶体再建術との同時手術にのみ iStent の使用が認められている。

当院にて2017年7月までに iStent を挿入し6ヶ月以上経過観察ができた19例27眼の術後成績は、術前眼圧 $19.1 \pm 3.8 \text{ mmHg}$ に対し、術後6ヶ月眼圧 $15.3 \pm 3.3 \text{ mmHg}$ であった。薬剤成分数は、術前 1.7 ± 1.0 成分に対し、術後6ヶ月では 0.3 ± 0.6 成分で77.8%が点眼なしで管理できている。術後合併症としては、顕微鏡の前房出血を3眼、iStent のシュノーケル部に虹彩が覆われて眼圧が上昇した症例を3眼経験するも現在まで重篤な合併症は経験していない。日本で使用が認められている初期から中期の病期症例では、iStent 1本挿入でも当院の術後6ヶ月にて緑内障点眼治療下の術前より18.8%の眼圧下降が得られ、水晶体再建+iStent 挿入術により術後に緑内障薬剤数の減少も期待される新しい緑内障術式と思われる。

福井県済生会病院
眼科部長

新田 耕治 先生
にした こうじ



重症ドライアイに対する涙小管閉鎖術

点眼薬や良質な涙点プラグの開発により、ドライアイは保存的治療に対応できることが多い。

しかし、観血的な涙点閉鎖術が必要な重症ドライアイも少ないながら存在する。

通常の涙点を焼灼、縫合する涙点閉鎖術は、涙点部が堅めの組織であることや、涙道内が陰圧状態となりうるなどから、再開通しやすい。そこで、やや手間はかかるが、より確実な涙小管閉鎖術を今回は紹介したい。涙点から数mmの瞼縁を15度ナイフなどで切開し、涙小管水平部を意図的に切断する。涙小管は意外と深い位置にあるが、断端を見慣れば同定は容易である。その後の操作がしやすいように、止血する。切断した涙小管断端を、両側に1~2mm掘り出し切除する。7-0ナイロンで、段違いとなるように(鼻側涙小管が下になるように縫う方がやりやすい)皮下縫合を行う(ここが最も重要)。

瞼縁と皮膚を7-0ナイロンで縫合、必要があれば結膜を吸収糸で縫合する。

その際、瞼縁の糸は長めに残し、皮膚を縫合した糸の下に落り込ませ皮膚に押しあわせるようにすると、術後に糸の断端が結膜に当たらない。今のところ再開通した症例はないので、悩んでいる方は、一度お試し頂ければ幸いです。

真生会富山病院
副アイセンター長

植田 芳樹 先生
うえた よしき

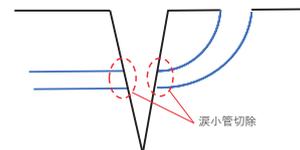


図1 瞼縁・涙小管水平部を切開し、両側の涙小管断端を1~2mm切除。

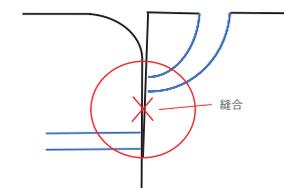


図2 段違いとなるように縫合

地域医療最前線

地域医療の最前線で活躍されている
眼科医師に現在の診察状況について
お聞きしました。



公立松任石川中央病院

〒924-8588 石川県白山市倉光三丁目8番地
TEL.076-275-2222



後列左から 視能訓練士 町川 香波
視能訓練士 中澤 優子
視能訓練士 岡本 香奈
前列左から 眼科部長 武田 久
看護師 坂根 弘美

眼科部長
武田 久
たけだ ひさし

[専門分野]眼科一般
[認定資格]日本眼科学会専門医・指導医



アピールポイント
当院は白山市にある総合病院で国道8号線沿い
にありますので、白山市のみならず隣接する各市
町からも地域住民の方が数多く受診される病院です。他の診療科の受診にあわせ
て眼科受診される方も多く、他の病院と同じく外来患者は高齢者（最近では90歳過
ぎの超高齢者も散見されます）が目立ちます。隣接する検診センターも検診やドッ
ク受診者数も多く、毎日センターから送られる眼底写真を20人前後判定していま
す。
日常診療で悩ましい症例も多く、たびたび金沢大学の先生方に紹介させていた
だき、精査・加療をお願いしています。これからも自身でできる範囲で地域医療
に貢献してまいります。

診療実績、治療実績について
平成28年度の外来患者数は1ヶ月当たり約
700人でした。
平成28年度の手術件数は240件で、白内障手
術が主です。



外来スタッフの紹介
医師1名、ORTは3名、看護師1名です。そ
の他、金沢大学より手術応援医師の派遣をしてい
ただいています。

厚生連高岡病院

〒933-8555 富山県高岡市永楽町5番10号
TEL.0766-21-3930



後列左から 視能訓練士 金内 毅之
看護師 黒田 智子
視能訓練士 五十野 仁美
事務員 橋 真奈美
前列左から 眼科医長 木村 雅代
医師 高島 萌

眼科医長
木村 雅代
きむら まさよ

[専門分野]眼科一般
網膜・硝子体疾患
[認定資格]日本眼科学会専門医
PDT(光線力療療法)認定医



アピールポイント
網膜硝子体疾患に関しては、メディカル、サージカルと
もに力を入れています。加齢黄斑変性に関しては抗VREGF
薬治療はもちろん、比較的大きな黄斑下血腫に対しては当院
の倫理委員会の承認を得て、組織プラスミノゲンアクチベ
ーターの硝子体内投与による血腫移動術も行っています。
緑内障に関しては、最近ではインプラント手術にも力を入れ
ています。OAGT使用による白内障・緑内障同時手術や、難
治性緑内障に対してバルベルトインプラントを用いたチュ
ーブシャント手術を施行しています。
患者さんの個々のニーズに可能な限り寄り添うよう、スタッ
フ一同頑張っています。

診療実績について
午前中は毎日外来、午後は月・火・木曜日は手術日、水・金曜日は予約検査日
となっております。外来患者数は1日平均50人前後です。最近特に増加している抗
VEGF注射は、予約枠を設けずに外来で行っているため、注射が必要な患者さ
んに迅速に対応しています。手術は、白内障、網膜硝子体疾患、緑内障、眼瞼手
術を中心に、月50〜60件施行しています。外傷なども可能な限り対応しています。

外来スタッフの紹介
常勤医師2名、看護師2名、ORT2名、医療事務1名です。



2017年7月29日(土)～30日(日)に千葉県木更津市の「かずさアカデミアパーク」で開催されました。

1日目 “触れる” [体験]

最先端の医療機器を体験

白内障手術体験コーナー | 検査・治療機器体験コーナー
3D手術実見コーナー | 視覚障害体験コーナー

語らう

全国で活躍する先輩医師との懇親・相談会

2日目 “知る” [計10講演]

主な講演内容

眼の根源力について
眼科力の現況について
眼科医の生活力について
眼科の未来力について

眼科サマーキャンプ2017に参加した感想



富山大学
浜田 瑞綺

眼科サマーキャンプでは、多岐に渡る視点から眼科の魅力を発信するプログラムが用意され、非常に充実した内容でした。その中でも特に印象に残っているのは様々な経歴を持つ先生らとの交流です。日々の診療からキャリアアップ、子育てとの両立など、先生らの生の声を聞くことができました。さらに、テーマ別に語る場では、普段ではなかなか聞けないようなことも和やかな雰囲気をお借りして、少し踏み込んで聞くことができました。私が選んだテーマは留学についてですが、帰国したばかりの先生のお話はたいへん刺激的で、今後のキャリアビジョンの参考になりました。また、体験コーナーでは最新の検査・手術機器に触れたりやロービジョンについて考える機会もありました。机太郎を用いたドライラボでは、普段よく練習で使用する豚眼とはひと味違う感覚で手術体験をすることができ、とても印象的でした。また、ロービジョンの方の見え方を模擬した歩行体験を通じて、介助の仕方やそのポイントを身を以て勉強することができました。全体を通して、新しい世界に触れることができ、心躍る思いが止まらない2日間でした。知見がさらに広がり、今後のモチベーション向上につながったと思います。

TECNIS
Symphony®
Extended Range of Vision IOL
OPTIBLUE®

広い明視域で自然な見え方
高いコントラスト感度
グレア・ハローの抑制

EXTENDED RANGE OF VISION IOL

販売名：テクニス シンフォニー VB
医療機器承認番号：22900BZX00005000

Johnson & Johnson VISION

アイエムオー・ジャパン 株式会社 名古屋営業所
〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-15-31 千種ニュータワービル11F
TEL.052-934-0591 FAX.052-934-0593

R424AZXR0-17Q20002

見ることの喜びを
さらに大きく豊かに



HOYA Surgical Optics

HOYA株式会社 メディカル事業部

お問い合わせ先：中部営業所

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通 4-13 朝日生命名古屋東ビル 5 階
TEL 052-851-7380

HOYA
SURGICAL OPTICS

DORC
オランダ ドルク社



白内障 / 硝子体手術 system

VacuFlow VTi (Valve Timing intelligence) は、
ピストンを利用した流体制御システムであり、
Vacuum モード / Flow モードを設定することが可能です。



アールイーメディカル株式会社
R E MEDICAL, INC.

www.re-medical.co.jp

本社：〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-29

東京営業所：〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル

名古屋営業所：〒465-0025 愛知県名古屋市中東区上社1-1204 ロール社東

福岡営業所：〒812-0014 福岡市博多区比恵町11-7 ニューいわきビル

TEL.06-4794-8220(代) FAX.06-4794-8222

TEL.03-5816-1480(代) FAX.03-5816-1483

TEL.052-760-3955(代) FAX.052-760-3956

TEL.092-437-5180(代) FAX.092-437-5181

承認番号:22700BZX00031000



S H O S O

DISPOSABLE
MICROSURGERY KNIFE

日本力。

私たちが生産の拠点を置く岐阜県関市は、刀剣の産地として800年の歴史があります。「折れず曲がらずよく切れる」という日本刀の神髄は、日本が誇る鍛造の技術によって、繊細かつ強靱な切れ味となって KAI 鍛造眼科メスにもしっかりと受け継がれています。

「匠創」は技術力と創造力を表す漢字を使った新ブランド名で、赤い落款をイメージしたロゴには KAI のクオリティと誇りが込められています。



SL24

スリットナイフ

販売名: マイクロサージェリーナイフ
医療機器認証番号: 219ABBZX00200000

仕様は変更することがあります

製造販売元

カイ インダストリーズ株式会社

国内営業部 医療器

〒501-3992 岐阜県関市小屋名1110
Phone (0575)28-6600 Fax (0575)28-6611
<http://www.kai-group.com/global>

MANI®

The Ultimate in Sharpness

究極の切味



〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
お問い合わせ先 TEL 028-667-9911 FAX 028-667-6177
E-mail: seg-dms@ms.mani.co.jp
8-3 KIYOHARA INDUSTRIAL PARK, UTSUNOMIYA, TOCHIGI, 321-3231, JAPAN
Phone: +81286677565 Fax: +81286676177

MANI®
MANI, INC. マニー株式会社

持続性 緑内障・高眼圧症治療剤

[薬価基準収載]

チモロールXE点眼液0.25%「TS」 チモロールXE点眼液0.5%「TS」

チモロールマレイン酸塩持続性点眼液

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照下さい。



～信頼と安全の思いを込めて～

テイカ製薬株式会社

〒930-0982 富山県富山市荒川1-3-27
http://www.teika.co.jp

資料請求先 テイカ製薬株式会社 医薬営業部
2017.12

最新のテクノロジーと熟練のクラフトマンシップがドクターの要求にお応えします。



株式会社 エムイーテクニカ
本社 03-5395-4588 大阪 06-6479-1707
札幌 011-792-6522 福岡 092-432-3740
http://www.metecnica.co.jp/



抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
レミケード®点滴静注用100
REMICADE® for I.V. Infusion100 (インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤)
[薬価基準収載]
[生物由来製品] [製剤] [処方箋医薬品] (注意・医師等の処方箋により使用すること)

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10

2015年11月作成

患者さんの笑顔と健康を願って・・・

新薬開発の先に見えるもの・・・
私たちは考えています、
患者さんの笑顔と喜びを。



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込2丁目28-8
http://www.kaken.co.jp

眼科手術補助剤、眼科用副腎皮質ホルモン剤<トリアムシロキサセトニド>製剤
処方箋医薬品(注意 一 医師等の処方箋により使用すること) [薬価基準収載]

マキュエイド® 眼注用40mg

MaQaid® OPHTHALMIC INJECTION 40mg

本剤の「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細につきましては製品添付文書をご参照ください。

※資料請求先 わかもと製薬株式会社 メディカルインフォメーション

製造販売元



わかもと製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号

2017.11.K



さわやか5感

SENJU

さわやか5感

世界の人々の目の健康に奉仕するという使命感のもと、私たち千寿製薬は眼科薬のパイオニアとして常に時代にさきがけて、独創の道を行ってまいりました。そして将来に向けて、さらに独創的な新製品を開発したいとの願いから、5感の分野へも挑戦を始めています。人と医薬品の無限の可能性に向かって歩み続ける千寿製薬に、今後ともご期待ください。

千寿製薬株式会社 大阪市中央区平野町二丁目5番8号

02768

2016年11月作成

c'estbien inc.

☆TVCM・ラジオCM・新聞・雑誌・印刷

☆HP作成・WEB広告(Yahoo!・Google)

・・・and more

株式会社セ・ピアン 〒920-0027 金沢市駅西新町3-9-33
TEL●076-232-7800 URL●http://www.cb-kanazawa.com

日程	会名	場所	時間	演者
2018年 4月8日(日)	第341回金沢眼科集談会	ホテル日航金沢	10:00～	佐々木洋先生(金沢医科大学) 林篤志先生(富山大学) 稲谷大先生(福井大学)
2018年 5月9日(水) ～12日(土)	23rd International Visual Field & Imaging Symposium (第23回国際視野画像学会)	石川県立音楽堂		会長: 杉山和久先生(金沢大学) 会長: 岩瀬愛子先生(たじみ岩瀬眼科)
2018年 5月12日(土) ～13日(日)	第7回日本視野学会学術集会	石川県立音楽堂		会長: 大久保真司先生(おおぼ眼科クリニック・金沢大学)
2018年 7月20日(金) ～22日(日)	第57回日本白内障学会総会・ 第44回水晶体研究会	石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール		会長: 久保江理先生(金沢医科大学)・中澤洋介先生 (慶応義塾大学)
2018年 11月3日(土) ～4日(日)	第36回日本眼腫瘍学会	金沢市アートホール		会長: 高比良雅之先生(金沢大学)
2018年 11月11日(日)	第38回金沢医科大学眼科研 究会	金沢市アートホール	未定	未定
2018年 12月16日(日)	第342回金沢眼科集談会	金沢ニューグランド ホテル	13:00～	未定

日程	会名	場所	時間	演者
2018年 6月3日(日)	第78回富山眼科集談会	富山国際会議場 (会議室203・204)	13:00～16:30	敷島敬悟先生(東京慈恵会医科大学)
2018年 6月23日(土)	第41回とやま眼科学術講演会	グランテラス富山	18:30～	松島博之先生(独協医科大学) 八子恵子先生(北福島医療センター)
2018年 8月4日(土)	第42回とやま眼科学術講演会	グランテラス富山	18:30～	野田 徹先生(東京医療センター) 石井 清先生(さいたま赤十字病院)
2018年 9月8日(土)	第108回富山大学眼科臨床 カンファレンス	富山国際会議場 (会議室203・204)	18:30～20:30	鈴木久晴先生(日本医科大学武蔵小杉病院) 山根 真先生(横浜市立大学)
2018年 10月21日(日)	第43回とやま眼科学術講演会	グランテラス富山	18:30～	安積 淳先生(神戸海星病院) 福島敦樹先生(高知大学)
2018年 11月17日(土)	第12回北陸オフサルミック フォーラム	グランテラス富山	18:00～	溝上史朗先生(愛媛大学) 古泉英貴先生(琉球大学) 根岸貴志先生(順天堂大学) 石川 均先生(北里大学)
2018年 11月25日(日)	第79回富山眼科集談会	富山国際会議場 (会議室203・204)	13:00～16:30	飯島裕幸先生(山梨大学)

日程	会名	場所	時間	演者
2018年 3月24日(土)	北陸眼疾患フォーラム	福井商工会議所	18:30～	後藤 浩先生(東京医科大学) 新家 真先生(関東中央病院) ピッセン宮島先生(東京歯科大学)
2018年 5月13日(日)	福井県眼科学術講演会	フェニックスホテル	15:30～	赤木忠道先生(京都大学) 森隆三郎先生(日本大学)
2018年 6月2日(土)	福井県眼科学術講演会	フェニックスホテル	18:00～	日下俊次先生(近畿大学) 中野 匡先生(東京慈恵会医科大学)
2018年 8月25日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00～	佐々木洋先生(金沢医科大学)
2018年 11月10日(土)	福井県眼科学術講演会	福井商工会議所	18:00～	未定
2018年 12月1日(土)	福井県年忘れ眼科勉強会	フェニックスホテル	18:00～	内藤知子先生(岡山大学) 他1名
2019年 1月12日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00～	酒井 寛先生(琉球大学) 他1名

医業経営をトータルに強化 クリニック経営支援



株式会社メディカ・コンサルティング

〒920-0003 石川県金沢市疋田1丁目33番地
(皇経営グループ内)

TEL:076-252-0162

中期経営
計画策定

収益性分析

マーケティング
コンサルティング

人財教育
コンサルティング

ホームページ&SNSから医業経営に関する
情報やセミナー情報を随時配信しています。



一人でも多くの患者さんに
「見えるよろこび」を届けます

Alcon Pharma

アルコン ファーマ株式会社

<https://www.alconpharma.jp>